

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 26 年度第 1 回弘前圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会
開 催 年 月 日	平成 26 年 7 月 2 日（火）
開 始 ・ 終 了 時 刻	14 時 00 分 から 15 時 00 分まで
開 催 場 所	弘前市役所本館 2 階特別会議室
議 長 等 の 氏 名	北原 啓司
出 席 者	座長 北原 啓司 副座長 新堀 猛 委員 藤田 俊彦 委員 小野寺 宏 委員 清藤 哲夫 委員 工藤 竹博 委員 福地 順 委員 高野 悟 委員 大石 幸雄 委員 久保 正彦 委員 葛西 朗 委員 永澤 俊之 委員 木村 玲子 委員 虎谷 誠二 委員 小野 正幸 委員 村上 義雄 委員 對馬 覚 委員 安達 慶子 委員 田中 利親
欠 席 者	委員 櫛引 利貞
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	行政経営課長 岩崎 隆 行政経営課総括主査 山内 浩弥
会 議 の 議 題	・ 弘前圏域定住自立圏連携施策実施状況 ・ 弘前圏域定住自立圏追加連携施策 ・ 弘前圏域定住自立圏スケジュール（案）
会 議 結 果	下記の会議録とおり
会 議 資 料 の 名 称	資料 1 弘前市附属機関設置条例 資料 2 弘前圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会運営規則 資料 3 弘前圏域定住自立圏連携施策の実施状況【平成 25 年度末】 資料 4 弘前圏域定住自立圏追加連携施策 資料 5 弘前圏域定住自立圏スケジュール（案）

会 議 内 容 (発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等)	1 委嘱状交付 2 市長挨拶 3 委員紹介 4 座長及び副座長の選任 委員の互選により 座長 → 北原 啓司 委員 副座長 → 新堀 猛 委員 5 事務局から 資料1 弘前市附属機関設置条例 資料2 弘前圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会運営規則 資料3 弘前圏域定住自立圏連携施策の実施状況【平成25年度末】 資料4 弘前圏域定住自立圏追加連携施策 資料5 弘前圏域定住自立圏スケジュール（案） について説明。 ○主な質疑応答 委員 カラス対策についてネットから集積ボックスへの推進についての進捗具合はどうか。 事務局 補助金制度があり、地元町会との連携でボックスの設置となっている。進捗率は定かではない。 委員 観光都市である弘前市ではカラス被害は深刻である。何か対策はないものか。 事務局 カラスのエサ断ちも含めてカラス対策を進めている。 委員 各自治体で連携しながら、いい作戦など情報交換して効果が出せるように引き続き進めていただきたい。 委員 中心市の役割と周辺市町村の役割の中に出てくる「甲」と「乙」は何を意味するのか。
---	--

	事務局 「甲」は中心市である弘前市、「乙」は協定を結ぶ周辺市町村のことです。 委員 では、そのような標記に直しておいてください。 委員 重要伝統的建造物群の群とは何を指すのか。 委員 東北地方で指定されているのは青森県では、弘前市仲町と黒石市中町、秋田の角館、岩手の金ヶ崎福島の大内宿がある。国が個とてではなく群として地区をしているもの。 委員 修理修景等を広域の定住自立圏としてやるということは、文化庁からのお金ということではなく、情報交換がメインということか。 事務局 それぞれの取組みを通じて、各圏域の人に知ってもらう情報共有や、外部から見に来ていただくための情報発信等をしていう部分で連携するということ。 委員 教育に関してですが、津軽地方全域における特徴のある学校教育施策が必要。 委員 この圏域で次の人をどうやって育てていくか。住みたいなと思う風土をつくっていくかというのが大事な話。この会で構想を打ち立てるものではないが、教育問題における情報を聴いたり、勉強したり、教育施策を広域でどう考えているか知りながら、各事業の進捗状況をみる会にしたい。進捗状況の早い遅いだけではなく、実質的な部分の意見を言えるような場を考えていただきたい。 委員 使用済小型家電リサイクルの促進というのは、弘前市が母体となってリサイクルを推進する会社をつくるとうことか。
--	--

	事務局 弘前市が会社をつくるということではない。法律によって各市町村が使用済小型家電等を分別収集して再資源化の促進に努めることになったが、回収量が見込めない。回収における費用対効果の部分で課題があるため、回収方法やバックヤード整備など連携を進める事業。 委員 事業化までして再生可能エネルギーに取り組んでもらうとうれしいのだが。 委員 地熱エネルギーなど再生可能エネルギーについても再度検討したほうが良いと思うが。 委員 再生可能エネルギーが連携事業に組み込めない経緯等も含めて次回お知らせいただきたい。 委員 大石武学流庭園はどれくらいあるのか。どういう位置付けなのか。 事務局 まずは、大石武学流の定義を定めるところから始めるということで、調査研究を連携してやるということ。 委員 大石武学流の具体的な場所はどこか。 事務局 平川市では盛美園です。
その他必要事項	